俳風柳多留 二十七編

へ9
1147
26

東鶴三に新人毎年ありしく設を
うつし筆を吹きそ梅奏もふ
らむ書の上下段もらぬへ
為そそ家さ佐あり和筆と
俳わよく手世はしなるあ仰上
評判乃一の人氏定又二三人す上
大尾近の仕有る人のここを
世らぬるも画列よよる出石なし
ここもしも事の姫分ともも自由を

門 へ 9
1147
26

26
門へ9特
番1147
巻26

秋田藩主佐竹家旧蔵書

東鑑に新人百年ありく波を
うつひの留を次を玉柏美を云
こゝ表の立ち代り代々仕
為ふ事なり実よりは愛あり和歌
の中にはしなるあり和上
方刑八一の人代々メ二三人
大尾近の位ある人のこゝ侍を
四ちゝ直列よりある事なり
こゝもしよりの姫分を高角を

つゝめ〳〵世をすぎぬの冊とちらし
去を養仙

寛政九丁巳年
中秋夏播磨国八家を過ル

ちらし文の外も戊戌丙寅
三月廿の分帳も過ぎ出凱陳
船出仕候九の中〳〵遠き
神出の仙ハ春の粉志ル秋
清正通りまぶの子書く
横留お祭出の祭りの神示堂
年家北も月の名不の人々出
仙台々僧〳〵 鶴ハ南相〳〵通
川〳〵年天の刈りの放生会

松欽
川為
風沢
鶴為
如蘆
麟玉
宮柳
鬼竜
程声

桜所の撹山馳走寝く ハ妓　カテウ
武郎ら一人ハ志れさ四天王　暁山
振袖へ後ろ見つく留　坂路
法度ら附き他の事とさもうしし　被青
歌色ハうれ乱筆よ為り哉　木卯
乃法を乱し柁樋へ娘入る　如雀
雛庭へ昇殿を許す絵心人　梳声
食山のくともぬと恭く志れぬ不　御雨
見るまされるとハ法つ手ら娘い　錦鳥

山ふり川雪と月とを庭へ志運　孤雲
清らく古き書を恩澤ハおもあり　松音
涼年ま従く貞女の名を汲し　里蝶
汐あつゆを経て紫志つみ哉　山寿
浮餅へむずハ深紫ま通ひ隔ツ　三交
桜見とハ広まあひ住めこともし　春湖
いのとしハ見その時へ桜数　風扶
桜よりも桜ま追さ娘の乱　修成
ころ紳山むし隠しさ生を納　喜雀

むすんでもなく　春雨すぎたつれ　山青
家まもれかもかすんでなつかしう　春水
だんだんと行手に人は群されば　竹二
古市でも大和路へ　麻を織り　カテウ
計めて五人　ちりて頃通し　洛和
うるき家よりしりくく大工隠せば　俳成
大イ中とハ母もやのおろうし　八工
何事ぞ　ふる里の母　春水
涙しぬ鬼ぞ去れば　偶中

四合酒小徳が花の盛り　木印
春ぶるる　僧正壺の跡さぶる　如雲
又ぶるも老男女二人ぶり　之交
山さくら　地蔵　石ぶり　和柳
夜の名時つるもの　名ぶる　宮柳
三日月の光り　蛙ハおそれ入り　有音
実のあるぬ花ぶる　の種ぶ　孫多
ぬれ事ハ雨ぶる　外よ　有音
雪の松一枝　ハ名　名　孫多

四月の風を牡丹の花の数　芳仁
山の寺の祇園会　宮新
ぜにめくと物さしと高砂尾上　木下
高砂や数は花者歩ゆ　藤竹
上下きて祭るゆきの行方　春町
出拍子て稽古のする門徒宗　風坊
三ツ蓮雲若ふる春河の水　松東
毛ものく陸奥なる姫ゆく　李川
雲相の姫数入ゆ一首まけ　雪ウ

駿河の国新しく数一ま花を　志夕
琴ゆ引ゆ出ゆ引の花ゆ海　色不
里の名花ゆ川ゆ見ゆ　一徳
いろ長ゆ内のおすんなゆ　爲丹
赤花老くゆ長ゆ花陽花　経陳
横の絵墨ゆ姫琴花色　宗湯
少川ゆ長ゆ長花ゆ月の村を切　芳仁
高砂花ゆ高ゆ花ゆ群ゆ　陽香
焼香ゆ燈ゆ花ゆ墨ゆ　有常

毋屋にまいる對月書を持て　川多
加賀屋にて藤の蔭に腰を掛　芳仁
安藤四郎左衛門に逢ふ　偶中
新道に新酒屋の人のさあ安し　沽二
新道に新酒屋の名を聞り　仝
紅葉に成ぬ　新道の道しるべ　孤雲
横別に豊小屋迄行ぶ　芳仁
四半時の後月は二度鶴屋　糸柳
湯に到て三度いくはかり　来路

一　鶴の恩徳が　猫の鼠を　倚中
詩の如き　孤声
孤光て　富梅
我為に人を　朱李
上ッてもいと　朱二
猫の行方　鬼芳
坂屋の主人　富梅
書を小宗孔　風仄
仲人を見ても　帽山
香車の陽不い　鶴

帆北より不審引廻る　曙山
鶴ヶ崎北より　矢正
樽の浦北より　源氏
蓋ヶ浦ヶ舞北　鶴声
先ヶ浦の名ヶ八幡　矢正
樽ヶ浦ヶ　保北　子城
新ヶ浦ヶ　松曉
女房八ヶ島不の旅ヶ　鬼芳
旅ヶ浦ヶ北ヶ　富柳

文政の義事は寄も出キ　宮柳
帰ヶ浦ヶ　新北　来二
北の夜八幡ヶ　遠多
年一ヶ高くヶ　一徳
逆浮ヶ　妹北　木印
同一ヶ　仕成
流ヶ　馬北　庁園
原ヶ　不路　曙山
桐の木の　北　表水
旅の年ヶ

流敏馬の休奔南北 萩て倉 水可
三味線ハ琴より人々んと通ス 宮柳
小月毎夫通しさを母吳見 仝
猫杓おれより大名下見て 風沢
四元トは鶴 鳴て居ハ下軍見 孤雲
校訂の社人に云りやめりけ出る 春海
吳見ぬく神下月の仕見 湖水
山吹ハ牧金小面 城ヶ より 宮柳
[illegible] 鶴 [illegible]

凡用より毛詩の出 [illegible] 蛙声
村杉 [illegible] 仝
[illegible] 柳 [illegible] 柳雨
[illegible] 隣 [illegible] 風沢
茶金小 [illegible] 雅水
任思 [illegible] の [illegible] 志多
出 [illegible] 質は [illegible] カテウ
[illegible] 元下 [illegible] 屋が牛と [illegible] 一徳
[illegible] 社人 [illegible] カテウ

唐さいかを見て其いの[illegible]池　一德
[illegible]の門へ少路ハ九年九夜　[illegible]
千代田ゝ浦千歳の古山号　[illegible]
千金花日毎さらる山神恩　矢正
筆道の外かゝも[illegible]ふ石　[illegible]
白妙のゆく山ゝ[illegible]る　窓梅
三國　金箱の[illegible]　梅の花　三湖
[illegible]の名花　[illegible]
神木の[illegible]の町　[illegible]

[illegible]　窓梅
第中りハ二把小[illegible]　梅沼　喰山
元日の祝[illegible]人　一德
出人[illegible]　[illegible]
八ッ橋の元祖[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　第仁
也遠[illegible]と層も細字　竹二
冬の升　一[illegible]二[illegible]　柳雨
[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]の中で[illegible]の赤もと立　矢正
工商の上の[illegible]立く[illegible]と[illegible]　正交
[illegible]あてなく皆　冠　[illegible]
天下太平[illegible]　仝
琴の[illegible]
白魚[illegible]　[illegible]の礼　雨声
雪月花[illegible]　[illegible]一首減り　[illegible]山
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]
南海と東海[illegible]の[illegible]　[illegible]二
[illegible]の[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
神[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]の図[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]　[illegible]
四[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]の名[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　カケウ
[illegible]　全
[illegible]　三交
[illegible]　春海
[illegible]　如蘆
[illegible]　籟竹
[illegible]　川雪
[illegible]　風沢
[illegible]　全

[illegible]　川雪
[illegible]　春海
[illegible]　風沢
[illegible]　湖舟
[illegible]　志多
[illegible]　京雪
[illegible]　春路
[illegible]　春海
[illegible]　十夫

追ひかけも白し嵐に坪のりん　風玖

合戦の時ハ周章る病哉　珍鳥

首筋より飛んで流れ織、雨　崇程

夜ハいとゞ寝られぬ名ぞ無念なる　倍底

誰ぞよといふかとたらけ有　寿洗

夕川にをどる生縄さ蕾の結　如雀

引潮ハ西と東に別れけら　諸鳥

鏡がきしかゝまき浮く香無音　雨夕

法度らん分生まれて巣遊　慶紅

画宗の中袋ハ歳の大好哉　如崖

好さに揃はれ身附二つる好嫁ハ　作本

年の内菜桶たゞりけ好けるん　如茬

行幕言るし此俳年か顔を　東鳥

言葉の秋咲ませ天地は浅う　又連

十寒る流ハまふ古る哉餘りなん　霞翁

蕨部が上うて浦の寝て好いや露　偶中

名北咲んて逢ても書れ候よし　正遮

[illegible]　三倉に　雛至
[illegible]　東西
正洞寺[illegible]　程声
樹下の[illegible]　柳の
二度の[illegible]　如蓮
四の地　[illegible]　地菊
[illegible]　[illegible]　鬼苔
[illegible]　[illegible]

[illegible]　風流
[illegible]　行器
[illegible]　柳雨
[illegible]　[illegible]同
切艾二度の[illegible]　松蔵
[illegible]　[illegible]
子[illegible]　[illegible]　柳雨
四[illegible]　[illegible]　川魚
月雪[illegible]　[illegible]

[illegible] 春雨
[illegible] 家物
[illegible] 鶯声
[illegible] 門柳
[illegible] 天連
[illegible] 芳丈
[illegible] 青好
[illegible] 紀弓
[illegible] 雨声

[illegible] 鶯よりも化粧の笑い吉田所 フクベ
一ッ聽のうらかな髪ゆひ江戸 [illegible] 鶯声
[illegible] 行園
[illegible] 鬼菊
[illegible] 春水
[illegible] フクベ
[illegible] 如雀
[illegible] 程夏
[illegible]

三蓮寺が門を通る家の屋根
宝山寺獅の頭の帆を上る風吹
青屋より見たり月二三本 川音
師匠二の俳者つゝみ寺を出られ 姫小
芋を多く好と云て芋を切る 藤行
磯辺の蛸石と命る景の事 遠浙
桐の葉たけ長くよく見る山の勝る 春雨
夕べの月計ハ上るけちかる 中 宗梅
芋を見て神の祭の残を師匠とう 柳雨

山北見て海やとむいてる所の夜 春雨
宗雄作品出で前をしつと留 風浪
相模の西方ハ陸地出さかし 湖雨
雑子中中の中中の桃太郎 すぎ
茶てんの花ふかる金太郎 友峰
戸川を辻番を履物てき 柳雨
夏北の二龍を出す角を獅子 すぎ
ハ月中の星山で手 東雨
陸奥国見て四月の十分五 力山

ちんさん（大きなる山）とゝけ出でぬる　雨夕
皐月晴れ渡りぬれば　御ぶらかり　三交
天地の妙合陽光照徹　風流
花の山石も松の緑　人たち　一曲
紅白て男女の志れるのうけ　高砂
初めそりと沈酒に倦　師匠　九郎
明子のこの二つ三つ知るいつ　嬉　家物
花笠　一交　師匠　赤面　人交
明の柳の車の山　体むれ　流声

川中で安義てき　ぎ　ぎ　小　ぎ　粥　川勇
独母の浴てて　て　し　の　自　名　名
十沙の年　髪　く　さ　し　沙　邪　の　日　の　柳
西方の出　る　高　る　也　り　き　庵　殺
ちんとう　二人　り　て　来　る　の　面　白　さ　力　ヲ
木う　枝　う　葉　う　高　て　ん　志　れ　ぬ　る　九　郎
枝の葉の中　う　も　る　ア　う　け　智　陳　杜
下　早　さ　月　沈　ゆ　げ　の　之　上　て　ゆ　う　藤　作
独面の女方　の　面　に　筆　て　か　毘　川勇

髪ゆひハ年の暮迄とゝのへて 宗梅
志のふもいはき新に鯖の買 遊雪
似泊薪ハけふりとむ元中川 松声
宿の一ツハ女髪ゆひ床てめ 有儀
雇稲に聞し女の猪若葉哉 鞠志
ささやあられ君様てんれ河上戸 花丈
うんかさ注かり気て見る孫〔照〕 如萍
借田にも送り滝メ心夜にせる 雅小
好うしきハ素顔にまる宮 桂 名末

籠上りある夜 女房に逢ひれ白 尼丞
彩し出んぐ後妻せず分会ぐ見 猿雪
濁の種か四門鄭子火ふりて 雅小
昨の菓子と鞠採〔illegible〕逢し 力行
まつ三ハ藤喜去来実に上る 鞭八
空ゆわしれぬハ野の雪 明り 丸氷
難かるこゝろまあ〔illegible〕 月 てんく 宗梅
二人合ありやうしめと地下の角門 フク人
枝本の化たる違めてさうり 宗柳

年れも老人ハ猿がぬけるやう　狂言
いやんの感て内のうら海　万作
表の口は月番之号付合せ　矢正
宝永　四象侍　法あきんど　英徳
うくうんの中間の舞　和谷
色白かやうと連ち　天正
老ゝい浪人のうつくし　玉雪
神之の拍の面は　象形
明ゝ之くしと　五筆の入る　視ゝ
寄ゝ

三ツ子山姥　橋ゝる人ゝ　東孝
ゝれのつくくと　春泊
元勝ゝ　景見ゝ　狂言
竹の子ハ春ゝ　雲ハ春ゝ　全
大ゆゝ　明ゝ　ゝる　墨の雛　宮物
春ゝ　ハ　ゝ　ゝ　眼小
角力　琴　ゝ　形　カテウ
うんゝ　ゝ　ゝ　ゝ　如花
蛤ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　川弓

来二
カテウ
春の
来二
春泊
風吹
柳雨
春夕
海雪

今
猿声
如雲
木卯
隔中
海雪
竹二
カテウ
二文

[illegible] 鶯声
[illegible] 風流
[illegible] 梅花
[illegible] 鶯声
[illegible] 梅の上
[illegible] 春雨
[illegible] 里城
[illegible] 春路
[illegible] 一雪
[illegible] 松安
[illegible] 木印
[illegible] 力三
[illegible] 三交
[illegible] 門柳

[illegible]　杉雲
[illegible]　宮梅
[illegible]　い柳
[illegible]　糸柳
[illegible]　カテウ
門[illegible]　風吹
[illegible]　程堂
[illegible]　里懸
[illegible]　杉雲

仕三やのごつち業花の詩は拾　鶴雪
花咲[illegible]　柳雨
[illegible]　小
[illegible]　李
[illegible]　一徳
[illegible]　カニウ
[illegible]　馬城

物の花折てうへ人に折られる　三郎
つまてゝ　ゆかハすの花大振し　宗悟
月あるひは花のこゝろ　深井　羽竹
雪つゝふかゝ夏と　雪夏　蝶ハの人　木京
我家の内の見て　うつり　切髪
言へきて　青汁　入る母の　風　川雪
時雨　ちる　滝　うつ　雪れ　夏弱

十二と十八のうてゝ　家に　貴　森水
風雲　寺ハ　廿七の　秋に　ゆ　竹二
花の歌に　雪て　竹　おもさ　北雀
七位　坊ハ　月　雪　形の　紙　書き　海雪
ちりや　狼　燈ゝと　ゝ　ゝ　ゝ　春羽
まゝだめ　ゝ　ゝ　音　茶　ふき　クワワ
人同し　ゝ　ゝ　花　火の　中に　桂月　姫小
降り　ハ　世　花に　結ぶ　花　家　孤声
ゝハ　藻　食の　火　事　我と　仲人　雪　海雪

市蔵は足もとの下の関はほめ　竹二
初うりは下女に用て見て裏てかき　千魚
公雨子丈古傳賣れ蕃　茶屋　瓶声
宮の奴まされきしが江戸の強　孤雲
越坂の月くとまりはみいんえん　古柳
玉子とぎの陸上半水雨も喰せ　湖水
猫かぶる木賊の瓜の位　眠小
かのらしいかが背き後家婦の内　柳雨
せきはんえ奴の鬼へ笑へ者り　行園

此建立物ハ澤潟と玉清潟　カテウ
汐と諸共ハ此次きたて川キ　春治
日本く庭の眼ゝ矢の使　風陝
此ほうびの塚ハふ用か俳の稽　綿多
面系の此庭て出来るのとやうき　三枝
人和ハ志ゝと真風一首よと　孤雲
夫婦別有牛は幸キ機は織　松斧
兼好の入元ハ風雅ハ四天王　如雀
此小傍と能とする奥山殿　川多

[illegible]ん時〳〵大縄にようけさせる　カテウ
[illegible]の城ハ竹[illegible]を名ゝるし　川香
白髪ふかきとうさ手をまねし　カテウ
押賣の佛比丘尼ゝ二人り出来　雨壺
唯度ま水畫ぢらま　宝　松　柳雨
[illegible]分ほとゝもゆとゝれる姫の著　伝成
[illegible]のに万せさらし　糸柳
[illegible]て用ひ[illegible]　竹二
[illegible]月萬ま〳〵　之校

[illegible]門柳
[illegible]ハ言遅し　姫小
[illegible]ける[illegible]　高梅
[illegible]の[illegible]　孤声
[illegible]ハ[illegible]　高梅
[illegible]　東雲
[illegible]ぶる　仝
[illegible]ひろとけてまてゆ出ル
[illegible]　東雲

梅の本を後京にかくしくしてある　仝

此猫日下部より新に賜りし竹二
丸形八性のものなれば長く伸キ矢正
一下絃の長さ仝し　凡車　凡化
のうけの先達夫縄にかゝる　妙花
安玉関かで字譜差異　繪香
地人のきつき人参の紙　乙　妙花
たうれるさまもあらいて　九橘
あくさもあらしたるもの　紫梅

後箱屋四つ人の割れり　沸香
沸香　沸ども　沸ども　沸ども　富梅
藤原の相法にして勝れ　千重
藤原の相法にして勝れ　千重
切勝北宗合遣の梅く　繪　孤壺
城沸の羽根の先にて獅子の巻　庁間
続沸の門堂一重屋にけ　和国
五〜〜〜〜〜〜〜〜の多い十三日　仝

仲人の頼みくとて花を開くこと　鶴鳥
柳の葉寒かりかさもけぶりて春の山
柳の葉武道て一変名を上る　徐考
山橋都の人よ名を加へ　名家
洗道法純の帯青き　川考
都の外小倉　秋の山伴像　古柳
山先祖八百年の名を辨　徐考
鼓を国出くに二十四人左し　矢正
毎号の陸まれ宝と大仏藍　春路

歩もはれぬ[illegible]ふ[illegible]法よ[illegible]ち　春路
京原のかくるる[illegible]不世界さ　すめ
四文字の口は[illegible]　鬼考
四年ちとも[illegible]　春路
ぬれ車の二[illegible]ハ[illegible]の[illegible]　浪杏
机より考三八[illegible]ちか[illegible]関　蒙桂
[illegible]の[illegible]　春雲　風路
路の[illegible]て水[illegible]矢　正
焼徒の[illegible]　鬼考

物語の所ゝ小さめるが一人の者　山寿
きすり人の為なるはまちの女　柏陳　柳雨
うかゝき貴　如意房はかぶりく貴　稲里
古柳でい逆と事係おいやり　窓物
柳ゝ香炉　古意よりする出家　乳　之枝
神事ゝ稲重　事あの山る　金屏風　左樹
えんのいゝ　ゝ日ゝ　花の出幕　窓物
陰打　北楽　ふ　ふ　ぶらくさ　鬼者
高柳の墨　者ゝ　ゝ　出源　日　北条

太平の陣屋の上ほとゝぎす　風仏
学のあつまるの日のまうゆ　芋洗
鉢ゝ　ゝ　根ゝ　ゝ　ゝ　稲星
おゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　春的
まが　柳　ゝ　ゝ　ゝ　風仏
出延引　ゝ　ゝ　ゝ　柳雨
花のちるゝびかゝ　ゝ　ゝ　ト長
北安　ゝ　ゝ　ゝ　カテウ
服やゝ　ゝ　ゝ　春的

新宮くれと向だの角たる時　三文
志津より書ものこと長き大こと　浮雲
白魚の火もをこ須い物清し　仝
鯉ほうと雪のたぶ〳〵花踏ハ見也　稲星
六斤すりの如所こけ義しれ　春泊
書初くに日向ハ如つる。梅茶　三文
手紙ほ中ハ花濃ハ時ハ　東雪
新備こと春汁町〳〵梅いこと　竹二
身ものみこと中ハ花幸好　赤人

村の子けつこうと磨ぬけ寄　松宵
磨ぬ尾こ明る剛し　さ　伊成
切風名こけて梅　ぶんぬ　り也　曙山
梅干の茶こ数ぬ苦労　こ　三柏
湯もこだし竹　ほやこすもや答が習　柳雨
のこちかも松の位ハ武市根　三交
のこちこ也すこと新の中ハ絵　宝物
いこほよふ斤油茶こ　ハ　松宵
中ぬさハ　ぬこれこ　ハ　糸柳

風風も遠くなりぬ　笑はせん　矢正
ほゝ屏のお後もちは時雨　孤色
雪降り風吾ぬりの出そうの事　紀国
柿の木の青葉九イ金をする　溝程
下戸は紅ゆゝ芋はをれとぬき　柳雨
腰とあ白の汲ぬけあい　松芋洗
逆桐はやるのハ母のはう事　宗梅
通言ハおやゝは耳ふ逆ふ　曙山
芋の腹ゆ五年ほめそひき　窓丸

延文の頃か蒙の中世露ハ舞　竹一
世太ろく着うる不ふか一ト構　窓梅
松うえの蹴くかゝむ町の春　錦鳥
ゆゝ恋か電敬の何る義者ある　春駒
二ツ赤くとさりぬハ梅かほとさ　東鳥
八重の梅ハ人書の腹を長ふし　松歌
ゆゝ入の十二ひとゝは離ハ石し　窓梅
ほのくの書をよゝ書ふ花の留る　春駒
糸日の時は移さぬハのむ礼者　カテウ

[illegible]やうさ注[illegible]て目より青紫　宗拍
[illegible]表やうの[illegible]桐紫　櫻　赤木
上下もの図面[illegible]　カテウ
夜そ[illegible]　行圓
今[illegible]の雨　舎　芋流
[illegible]双紙[illegible]　柳雨
三舎[illegible]　松与
[illegible]　三文
[illegible]の里　芋渡

[illegible]か清う空[illegible]　宗拍
[illegible]　宗拍
[illegible]　宗拍
山門[illegible]　三文
[illegible]　川与
[illegible]　宗拍
[illegible]　三文
海紫[illegible]　風流
[illegible]　宗与

法師のおかの御堂
面々今さのゝ歌きりかどてい
家紅紅のとくれ嵯峨ゝ
十七で稲荷まゐりせ給ひ
茶の湯さ方うら孤篷庵出
社の上うゝ立てのゝさをく
細引の所ぬ八坂の塔うゝ
花盛藤之ゆするさらし藤
金閣の賞で高ゝ八坂ゝ

寺成
柳雨
矢正
カ下山
陶月
春泊
富海
名系
東月

事ぬ人ゝ花し風の間ゝ立ゝ
金くゝうゝも魚鱗ゝ今ゝ蓮の世
桐ゝ実の中ゝ出ゝ山ゝ
梅木と蓮生ゝ毒大ゝ
見蓮ゝのゝ花ゝ中ゝ
上ゝ山ゝ分蓮ゝ花ゝ
紫ゝ蓮ゝ花ゝ
末寺ゝ山ゝ蓮ゝ金閣
山蓮ゝ居御ゝ

里月
柳雨
柳春
紀月
程月
弧雪

むさし野の暗かりける中祭礼　三雄
十五夜ハ娵か心に切て大きらき　如花
桐の木へ葬ハ凡かしらぬ　三交
一日ハ清涼殿の娘ち護　法太郎
ゆびへ紙巻ハ保者の琴の爪　程声
手まれてのはしさ凡ハ記んかゟし　春治
花嫁ハそろく出かとをりき　曙山
妻んと着るて花嫁ハ同し庭　乗鳥
ほとしをえて嫡の藤のとまる　九龍

岩代ハ紺ら先へ居るかり　娵子へ
女角お火にはあへこ堤え　虎肉
科の紙貴はゐ主てふつり粗　如花
年心藤子四五年かゝる之　九氷
嫁女子の縁てゝ雛出お協ち粘　行園
蔣蒼ほ女房の寄貢い花留を頃　矢正
耳ハ鳥西う、棒て母まれ　川鳥
行者こ砂ハ傀ちれ安鎧　三交
字案ろの錐ハ御作や吟ぬ之　程声

[illegible]大[illegible]市[illegible]家ハ[illegible]し川[illegible]
[illegible]くなるんで困のも[illegible]三交
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
矢[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]三交
[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]他[illegible]の[illegible]毎[illegible]迫入[illegible]市二日[illegible]
廿二三の[illegible]屋も毎ぬ[illegible]
豊度[illegible]湯[illegible]
[illegible]

[illegible]屋[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]東水
[illegible]雨[illegible]乳[illegible][illegible]る松[illegible]
[illegible]
[illegible]の[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]乳母[illegible]鬼[illegible]
[illegible]次[illegible]ハ[illegible]押[illegible]

東西〳〵よけちかく　はなすこ　千露

死ハ安く生ハかなしハ　萩函　孤声

孫宮の松ゝ　蛸ぐ〳〵のかし　山雪　仝

かぶきゝ人形の　ゆりうさ　吉川

屋すゆ　ゆのうるひと　女晃　ゆり　亦松

てら　一布　ゆ　集ゝ入　ゆんぐゝ　東壹

○俳諧風書品目録　江都上野山王之傍　花屋蕩次郎

俳風柳樽拾遺十冊　川柳点句洞庭代多四季題新古雅俗諧作者部分

岡川傍柳　高川柳点　岡やすゝ　川柳点

岡柳句程篇之遺稿篇　江戸五文字柳句撰点者　柳句著者

岡爭基　元吏庵里夢身と儀　江戸五文字柳句撰点者　岡百〻　雖蓮信